

## 大船渡 越喜来東区会館公演 実施報告

【公演名】越喜来東区会館公演 たのしいクラシック&動物ものまね

【日時】平成 24 年 3 月 17 日（土）18:30～19:30

【場所】越喜来東区会館（岩手県大船渡市三陸町越喜来字杉下 97-8）

【目的】大船渡市の被災地域は広範囲にわたり、ホールまで足を運ぶことができる手段を持つ人も限られています。身近な公民館で音楽をともに楽しみ、近隣住民の方が寄り合って交流する機会を届けます。

※同日午後にリアスホールで行われたオーケストラ公演の追加公演

【共催】社団法人日本芸能実演家団体協議会／東京ユニバーサル・フィルハーモニー管弦楽団／越喜来東区会館／遠野まごころネット

【出演者】ヴァイオリン：塗屋真弥、石沢美都

ヴィオラ：中村智香子 チェロ：音川健二

進行・動物ものまね：江戸屋まねき猫

【プログラム】

アイネクライネナハトムジーク第一楽章より

《動物ものまね芸》江戸家まねき猫

セレナーデ／ハイドン

ラルゴ（オンブラマイフ）／ヘンデル

子猫のワルツ／アンダーソン

タンゴ「碧空」／クリスナー

イエスタディ／P.マッカートニー

マイ・フェア・レディより「踊り明かそう」／F.ロウ

【報告】

大船渡リアスホールでの公演の後、弦楽四重奏メンバーと江戸家まねき猫さんと向かった会場は、同じ市内でも車で約 30 分、山を越え、沿岸から少し上ったところにあり、まさに津波もすぐそこまで迫って避難所にもなっていた公民館でした。譜面台とピアノ椅子は、地元の楽器店の方が津波で流されたものを拾ってきたものでよければ、と無償で提供いただき、岩手県沿岸部の各地でボランティア活動を行っている遠野まごころネットの方々が、お茶やお菓子の準備をしてくださいました。

公民館には、小中学生、年配の方々、約 30 名がご近所から楽しみに集まり、和やかな雰囲気の中、演奏が始まりました。「アイネクライネナハトムジーク」に続き、動物もの

まねの江戸家まねき猫さんの演芸。全身で繰り広げられる動物ものまねに、子どもも大人も笑みがこぼれました。まねき猫さんの司会で曲の紹介と会場の方からもお話をうかがいながら、親しみやすい公演となりました。子猫のワルツでは本物そっくりな猫の鳴き声、犬の鳴き声も。ビートルズの「Yesterday」、ミュージカル「マイ・フェア・レディ」から「踊りあかそう」など、弦楽のあたたかい調べにみなさんうっとりとして耳を傾けていました。

公演後は、公民館の館長さんから越喜来の由来、震災後の様子もうかがいつつ「素晴らしかった。生でこんな演奏を聴く機会はないから、子どもたちにもよかったし、みなさんほんと貴重な機会に喜んでた。ありがとうございます。」と感謝の言葉をいただきました。

【経費】演奏者宿泊費 7,000円×4名=28,000円

